

# 体操実施要項

1. 日程  
2021年5月29日(土) 体操競技監督会議 体操競技フリー練習  
2021年5月30日(日) 体操競技審判会議  
体操競技少年の部(団体総合、個人総合、種目別)  
2021年5月28日(金) 新体操監督会議・審判会議 新体操割り当て練習  
新体操団体競技 新体操個人競技  
2021年5月23日(日) トランポリン競技監督会議・審判会議  
トランポリン競技
2. 会場  
(体操競技・新体操) 酒田市国体記念体育館  
(トランポリン競技) 南陽市民体育館
3. 競技区分 第76回国民体育大会山形県予選会兼第48回東北総合体育大会山形県予選会
4. 競技規定  
(1) 日本体操協会制定競技規則並びに採点規則による。ただし、本大会特別規則は審判会議・監督会議を経て適用する。  
(2) 出場校は必ず有資格者1名の審判を紹介すること。  
(3) 各校の監督を審判に委嘱することがある。  
(4) トランポリン競技の審判については、協会派遣とする。
5. 競技方法  
(1) 体操競技  
① チームの編成  
(ア) 成年・少年男女とも個人選手権とするが、少年男女においては各種目のベスト3によりチーム選手権も併用する。選手8名まででチームを編成(1チーム3名でも可)し、他に補欠2名を認める(申込書に明記のこと)。2名以下の場合個人として競技に参加することができる。なお、申込書の1から4までの選手は2班に、5以降の選手は1班に編成する。参加者が少ない場合は1班にまとめて班編成することもある。その場合は細部連絡にて通達する。  
(イ) 少年男女とも1登録団体より出場できる選手は10名(チーム8名、補欠2名)までとする。また、男女ともマネージャー1名を申し込むことができる。  
(ウ) チーム選手権は、1班から2班、2班から1班へ入れ替えることができる。  
② 競技方法  
(ア) 成年男子、成年女子(個人総合及び種目別)  
男子は、ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒の6種目の自由演技を行う。個人総合成績順位は、6種目の自由演技の得点総合計によって決める。ルールは日本体操協会体操競技男子2017年版採点規則、男子体操競技国内内規及び男子体操競技最新情報までを適用する。種目別成績順位は、各種目別の得点によって決める。  
女子は、跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆかの4種目の自由演技を行う。ルールは日本体操協会体操競技女子2017年版採点規則(変更規則I)及び女子体操競技最新情報までを適用する。個人総合成績順位・種目別成績順位の決定方法は男子に準ずる。



6. 参加資格
- (1) 山形県体操協会に本年度の登録を完了したもの。
  - (2) 本大会総則の7「参加資格及び選手の年齢基準等」の条件を満たすもの。山形県の選手として疑問がある場合は、事務局に問い合わせること。
  - (3) 体操競技・新体操については、県中体連体操専門部より推薦された中学3年生が参加出来る。但し、学校長及び保護者の承認を得た者とする。
  - (4) トランポリン競技に参加できる選手には、平成17年4月2日から平成18年4月1日までの間に生まれた中学3年生を含むものとする。但し、保護者の承認を得た者とする。
  - (5) 国体に参加する選手は、本県大会に参加しこれを通過した者であること。
  - (6) 参加資格に疑義があるときには、(公財)山形県スポーツ協会及び当該競技団体が審査し決定する。

7. その他
- (1) 選手は健康診断を受け、健康であることを証明された者であること。
  - (2) 健康保険証を必ず持参すること。
  - (3) メンバーの最終決定は、体操競技・新体操・トランポリンはそれぞれの監督会議で決定する。
  - (4) 競技日程は後日事務局より連絡する。
  - (5) 会場でのゴミの分別収集にご協力下さい。(持ち帰りを原則とする)
  - (6) 学校の顧問・チーム責任者より、本人及び保護者に対し、「大会プログラム作成及び成績上位者の報道発表並びに(公財)山形県スポーツ協会ホームページへの記載について」口頭による同意を得ること。

8. 表彰並びに選考

- (1) 各種別及び種目・チーム選手権の1位から3位までに賞状を授与する。
- (2) 東北大会及び国体への派遣選手・役員は山形県体操協会選考基準(別紙)に添って、各技術委員会が推薦し、選考委員会で最終決定する。
- (4) 選考委員会は、山形県体操協会会長・理事長・強化部長・各委員長・事務局長及び本大会各審判長をもって構成する。
- (5) 成年男子の選考については、申込選手の所属チームに於いて今シーズンの演技を6種目撮影し、令和3年5月23日(日)までに体操競技男子技術委員会に送信する。その演技を技術委員会で採点し、上位者から順に選手選考を行なう。また、採点成績については公開する。  
※ 最終決定は上記(2)に順ずる。
- (6) 成年女子の選考については、令和3年度の大会に召集せず、申込選手の過去の大会成績を基準に体操競技女子技術委員会で選手選考を行う。

9. 申込み

- (1) 参加申込み
  - ① 別添参加申込書により2部作成のうえ出場認知書(少年のみ)を添え、下記あて送付すること。
- (2) 申込み締め切り日 (参加・振込) 2021年5月6日(木)必着
- (3) 申込先

〒990-2481 山形市あかねヶ丘1-9-1  
山形市立商業高等学校 会田 広 宛  
TEL023-643-4115 FAX023-643-4118

(4)参加料は下記に振込とする。

振込先 : 山形銀行 県庁支店  
口座番号 : 普通預金 813842  
名義人 : 山形県体操協会 会長 布川 元

10. 参加料等 本大会に参加する監督、選手は次の参加料を納付すること。
- (1)成年1名に付1,500円(オリンピック募金 250 円、スポーツ振興募金 100 円を含む)
  - (2)少年1名に付1,000円(オリンピック募金 170 円、スポーツ振興募金 100 円を含む)
  - (3)マネージャー及び補欠は参加料を必要としない。
  - (4)少年の種別の監督は少年扱いとする。ただし、少年の監督と成年の選手を同一競技内で兼ねる場合は成年選手扱いとする。

(内規)

・選考基準についての特例

不慮の事故発生で大会が開催できなかった場合の選考基準は、別途山形県体操協会の選考基準(別紙)による選手選考 とする。

・新型コロナウイルス感染症防止対策として

山形県及び東北体操協会並びに山形県高体連体操専門部のガイドラインに沿って大会運営を実施する。

## 1 男子体操競技技術委員会選考基準

- ・最強チームを編成する。
- ・国体県予選会の結果を参考にし、技術委員会が原案を作成し、選考委員会で最終決定する。

### 東北ブロック予選会出場選手

少年

- ① 原則的に国体県予選会終了後、個人総合成績における上位4名の選手を選考する。
- ② 怪我等により選手選考を考慮する選手がいる場合は、個人総合成績における上位4名を決定し、残り1名に関しては技術委員会にて決定する。

成年

- ① 原則的に国体県予選会終了後、個人総合成績における上位3名の選手を選考する。
- ② 県国体予選会成績の中からチーム得点の貢献度が高い選手2名を選考する。
- ③ 怪我等により選手選考を考慮する選手がいる場合、技術委員会で検討し②の選手と交代することもありえる。

### 国体出場選手 (少年男子=3/6 成年男子=1/6)

- ① 原則的に東北ブロック予選会の出場選手を派遣する。
- ② 怪我等により選手変更しなければならない場合は、技術委員会で検討する。

### 監督・コーチ選考基準

#### 【少年男子監督】

- ・日本スポーツ協会公認コーチ有資格者で、一番多くの選手が所属する団体から選ぶ。同数の場合は県予選会の合計順位が少ない方とする。

#### 【少年男子コーチ】

- ・監督の所属団体を除いた選手の所属団体から選ぶ。複数でもかまわない。また、選手がすべて単独団体の場合は監督と同じ所属団体でもかまわない。

#### 【成年男子監督・コーチ】

- ・日本スポーツ協会公認コーチ有資格者の中から、技術委員会が推薦し、選考委員会で最終決定する。

## 2 女子体操競技技術委員会選考基準

- ・最強チームを編成する。
- ・国体県予選会の結果を参考にし、技術委員会が原案を作成し、選考委員会で最終決定する。

### 東北ブロック予選会出場選手

成年

- ① 原則的に国体県予選会終了後、個人総合成績における上位3名の選手を選考する。
- ② 怪我や上位大会出場のため予選に不参加だが、選手選考を考慮する選手がいる場合は、個人総合成績における上位3名を決定し、残り2名に関しては技術委員会にて決定する。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の影響により、よせんに不参加の選手がいる場合は、昨年度大会や各所属での試技会等の成績を鑑み、技術委員長で検討することもあり得る。

少年

- ① 原則的に国体県予選会終了後、個人総合成績における上位3名の選手を選考する。
- ② 残り2名の選手に関しては、個人総合8位以内の選手より、一番チーム得点が高くなる組み合わせの2名を選考する。

- ③ チーム得点の貢献度が同点の場合は、個人総合順位の高い方の選手を選考する。
- ④ 怪我等により選手選考を考慮する選手がいる場合、技術委員会で検討することもありえる。

**国体出場選手** (少年女子=3/6 成年女子=1/6)

- ① 原則的に東北総体の個人総合成績における上位5名の選手を選考する。
- ② 怪我や上位大会出場のため東北総体に不参加だが、選手選考を考慮する選手がいる場合は、東北総体の個人総合成績における上位3名を決定し、残り2名に関しては技術委員会にて決定する。

**監督・コーチ選考基準**

**【少年女子監督】**

- ・日本スポーツ協会公認コーチ有資格者の中から技術委員会で推薦し、選考委員会で最終決定する。
- ・基本的には一番多くの選手が所属する団体から選ぶ。同数の場合は県予選において合計順位が少ないほうとする。
- ・該当団体で有資格者を派遣できない場合は、他所属の有資格者を監督に推薦する。

**【少年女子コーチ】**

- ・監督の所属団体を除いた選手の所属団体から選ぶ。複数でもかまわない。また、選手がすべて単独団体時は、監督と同じ所属団体でもかまわない。

**【成年女子監督・コーチ】**

- ・日本スポーツ協会公認コーチ有資格者の中からの技術委員会で推薦し、選考委員会で最終決する。

### 3 女子新体操技術委員会選考基準

- ① 最強チームを編成する。(県選抜) **国体出場=3/6**
- ② 選手、監督、コーチは技術委員会が原案を作成し、国体県予選会に出場し、選考委員会で最終決定する。

**監督・コーチ選考基準**

- ・日本スポーツ協会公認コーチ有資格者の中からの技術委員会で推薦し、選考委員会で最終決定する。

### 4 トランポリン技術委員会選考基準

**東北ブロック予選会出場選手**

- ① 選手選考は本大会の上位者から順に選考する。

**監督・コーチ選考基準**

- ・監督については、日本スポーツ協会公認コーチ有資格者から技術委員長で推薦する。
- ・コーチについては、選手の所属先の指導者を技術委員会で推薦する。